

2 これまでの経緯

本市の行政評価は、事務事業評価を重点に実施しています。これまでの経緯は、次のとおりです。

年度	事業数	対象事業の抽出基準等
平成 12 年度	28	第三次総合計画の基本目標ごとに 1~2 事業を抽出し、試験的に実施した。
平成 13 年度	57	事務事業評価の考え方を庁内に浸透させるため、課題となっている事務事業を中心に、各部署 1~2 事業を抽出。
平成 14 年度	98	3 か年実施計画掲載事業の中から継続的な事業を抽出。
平成 15 年度	152	3 か年実施計画掲載事業のほか、定型的な業務も含め、各スタッフ 1~2 事業かつ各部署の上限を 5 事業として抽出。
平成 16 年度	249	3 か年実施計画掲載事業を中心に、多額のコストを要する事業、重点事業、問題点を抱えた事業等から、各部署の上限を 10 事業として抽出。
平成 17 年度	164	事務事業をより深く検証し、課題の抽出とその改善策を充実させることに主眼を置き、各部署の上限を 5 事業程度として抽出。
平成 18 年度	126	課題の抽出と改善策の充実に重点を置きながら、評価結果を今後の方向性に繋げやすいと思われる事業を重点的に選定。
平成 19 年度	123	3 か年実施計画掲載事業及び予算書の主要事業、重点事業を中心に、評価結果を今後の事業展開に繋げやすいと思われる事業を中心に選定。
平成 20 年度	35	予算書の主要事業、重点事業を中心に、評価結果を今後の事業展開に繋げやすいと思われる事業を中心に選定。
平成 21 年度	22	職員による緊急事業仕分けを実施。3 か年実施計画掲載事業及び予算書の主要事業、重点事業を中心に、見直しの必要性のある事業を選定。
平成 22 年度	17	職員による緊急事業仕分けを実施。3 か年実施計画掲載事業及び予算書の主要事業、重点事業を中心に、見直しの必要性のある事業を選定。